

インドネシア・バリ州訪問について

本県は平成28年11月にインドネシア・バリ州とMOUを締結していますが、バリ州では、アグン山の噴火に伴う風評被害により、主要産業である観光業界が大きなダメージを受けています。

熊本地震や阿蘇の噴火を経験した熊本県としては、このような時期にこそバリ州を訪問し応援すべきとして、知事が県議会議長や崇城大学学長等とともに下記のとおりバリ州を訪問いたします。

今回の訪問では、火山噴火による被害をお見舞いするとともに、MOU締結から一周年が経過した両地域の交流をさらに進めるため、農業、教育、観光の各分野における交流の覚書を締結する予定です。

この訪問を契機として、お互いの信頼関係を深め、交流がさらに進むことを期待しています。

記

1 日程

平成30年2月3日(土)～7日(水)

2 訪問者

知事、県議会議長、崇城大学学長 等 計10数名程度を予定

3 主な日程

2/3(土)～ 2/4(日)	バリへの移動
2/5(月)	午前 バリ州知事表敬 午後 各分野の覚書調印 関係者との夕食会
2/6(火)	関係先視察
2/7(水)	バリから帰国

※『インドネシア・バリ島噴火被害に対する災害義援金』の募集については別添「趣意書」参照

お問い合わせ先

国際課 桶谷、吉田 (内線 3182、5267)
(ダイヤル) 096-333-2159

インドネシア・バリ島噴火被害に対する災害義援金趣意書

熊本県国際協会は、地域の国際化を推進するにふさわしい中核的民間交流組織として総務省の認定を受け、現在98の会員団体により、熊本県との協働で本県の国際化を推進しています。

さて、インドネシア・バリ島においては、11月に噴火したアグン山(3014メートル)の火山活動が同島の主要産業である観光業に大きなダメージを与え、経済界は多大なる打撃を受けています。

熊本県においては、インドネシア・バリ州と平成28年11月に国際交流促進に係る覚書(MOU)を締結し積極的に交流しているため、被災された皆様へのお見舞いと一日も早い復興を願う熊本県民の善意を伝えることを目的として、下記のとおり義援金募集を行うことといたしました。出費多端の折り恐縮ですが、趣旨をお汲み取りのうえ、御協力くださいますよう心からお願い申し上げます。

平成29年12月28日 熊本県国際協会 会長 蒲島郁夫(熊本県知事)
副会長 大西一史(熊本市長)
副会長 原田信志(熊本大学長)

記

- 1 募金名称 インドネシア・バリ島噴火義援金
- 2 期 間 平成30年1月4日(木)～1月29日(月)
- 3 使途予定 今回の災害に係る被災者の救援等に役立てます。
- 4 募金額 任意
- 5 募金方法

(1) 銀行振込

①口座番号 肥後銀行県庁支店 普通 1651034

②口座名 インドネシア・バリ島^{どうふんかぎえんきん}噴火義援金

^{くまもとけんこくさいきょうかい}熊本県国際協会 ^{じむきょくちよう}事務局長 ^{こがねまる たけし}小金丸 健

*上記2の期間内に肥後銀行の本支店窓口で振り込むと振込手数料が無料となります。

(2) 現金書留

(3) 直接持参

6 その他

この義援金は、法律上の「寄付金控除」の対象ではありません。

(受付・送付先)

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

県庁本館7階国際課内

熊本県国際協会事務局 義援金係

電話 (096) 333-2315、(096) 385-4488 ファクシミリ (096) 381-3343